

「レル敬語」指導の手がかりに関する一考察  
—現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）調査に基づいて—  
A Study on Clues for Instructing “*Reru*” Honorifics:  
Based on research on the Balanced Corpus of  
Contemporary Written Japanese (BCCWJ)

菅生早千江

1. はじめに

敬語を適切に使うことは、多くの日本語母語話者にとって関心が高いトピックである。2023年9月末に発表された「令和4年度『国語に関する世論調査』」（文化庁）においても、自身の言葉の使い方に気を使っているとした回答者のうち、8割以上が「改まった場で、ふさわしい言葉遣いをする」ことに、また7割近くが、「敬語を適切に使う」ことに気を使っていると回答している。日本語学習者にとっても敬語は時間を割いて学ぶ学習項目であり、日本語教師は敬語使用に関し、様々な質問を学習者から受けている。

本稿では、敬語のうち尊敬語を取り上げる。文化庁文化審議会が2007年に発表した「敬語の指針」では、尊敬語は「いらっしゃる」「召し上がる」のように特別の形があるもの、「お話になる」「ご出席になる」のように語頭に「お・ご」を、動詞の語幹に「になる」を付加した形、および、「読まれる」のように、「(ら)れる」と受身と同じ活用の形をとるものの3種が含まれるとした。この「(ら)れる」の形をとる尊敬語（以下、菊池（1997）に倣い「レル敬語」とする）については、1952年に文化庁第1期国語審議会が発表した「これからの敬語」において「受け身の言い方とまぎらわしい欠点はあるが、すべての動詞に規則的につき、かつ簡単でもあるので、むしろ将来性があると認められる」とされたものである。その後50年以上経て、レル敬語は尊敬語として浸透している。

しかしながら、レル敬語は敬意を表す度合いが軽いことが指摘され（菊池,1997）、東日本では使いにくい（井上, 2017）ほか、特別形および「お/ご～になる」の形（以下「ナル敬語」）を好むとする見方もある（野口, 2013）。その一方で、レル敬語は敬意を表す度合いが軽いことで、より高く扱うべき対象と尊敬語との使い分けをすることができるとして、肯定的に捉える向きもある（「秘書検定対策ブログ」）。

そこで本研究では、レル敬語とナル敬語の使用について、どのような文脈で使用されているのか調査することとする。レル敬語とナル敬語の使い分けを探ることで、大学初年次教育において、また日本語学習者に対して、指導に活かせる手がかりを得ることを目的とする。調査対象には、近年レル敬語の研究でも用いられるようになった言語コーパスを用いる。

## 2. 先行研究

### 2.1 マスメディアの敬語使用におけるレル敬語の扱い

はじめに、社会における敬語使用の一例として、マスメディアにおけるレル敬語使用について述べる。マスメディアの用字用語のガイドラインを見ると、報道記事では敬語は用いないとされているものの、皇室に対しては原則として敬語を使うと規定されている。ただし、「過剰にならないよう注意し、特に二重敬語は使わない。敬語が多いと読みにくいので、第1文の最後の述語1カ所だけに使用する。(中略)「お着きになる」「ご覧になる」など、お〇〇になる、ご〇〇になる---という敬語表現は使わない」(共同通信社, 2021, p.562)。この規定に準拠し、皇室に関する報道ではレル敬語が標準的に使用されている。一例を挙げる。

秋篠宮ご夫妻の長男悠仁さまは今月6日、17歳の誕生日を迎えられた。宮内庁によると、自然に親しみ、高校では友人と一緒に勉強やスポーツに励んでいるという。今夏は地方での公務も初めて経験した。成人まであと1年。周囲は成長を温かく見守っている。

(毎日新聞 2023年9月15日)(下線は筆者)

### 2.2 母語話者を対象とした敬語教育におけるレル敬語の扱い

大学における初年次教育での敬語指導に関し、野呂(2016)は日本語表現の教科書10冊を概観した。レル敬語については、「他の表現に比べて敬意が低いため、上司や先生などに用いるときには注意が必要である」「受身や可能の助動詞と同じ形式であるため、解釈があいまいになることもある」ほか、「召し上がる」など特別形がある場合はナル敬語を使わないとする3点を基準としてまとめている。しかしながら、これらの基準全てに言及している日本語表現の教科書はなかったと報告している。大学生や新入社員を念頭に置いた、ビジネス文書の指導において杉本(2014)は、レル敬語は可能の意味でも使い、文書では紛らわしいので、できるだけ使わない方が賢明であると述べている。

一方で、秘書実務教育においては、話す相手の職位も考慮しレル敬語を適切に使うことを指導に含めている。一例としては、秘書の立場で専務からの伝言を常務に取り次ぐときには、「専務は3時にいらっしゃるとのことでございます」が適切であるが、常務の伝言を専務に伝えるときには、「常務は3時に来られるとのことでございます」が適切であるとする。

専務に対して、話題人物に「いらっしゃる」を使うと、話している相手（専務）より、話題の人物（常務）を高めてしまうので、弱い敬語であるレル敬語を使うようにという指導である（「秘書検定面接対策ブログ」）。

以上、母語話者に対する敬語教育では、レル敬語の「敬意の程度の軽さ」および「活用の形による意味の紛らわしさ」に注意を喚起する捉え方が散見される。同時に、レル敬意は尊敬語の他の形式と使い分けることで、人間関係の多様性を表現するのに適切であるとする専門的な指導もある。しかしながら、日常的に用いられるレル敬語について、具体的な使い分けに踏み込んだ指導は管見の限りされていない。

### 2.3 日本語学および日本語教育におけるレル敬語の扱い

敬語に関する日本語学研究は数多くあるが、ここではレル敬語とナル敬語との使い分けに着目した研究を挙げる。坂本（1992）は、ナル敬語とレル敬語の形式それぞれに、どの動詞がこの形式を取り、どのような文型で使用されるかを考察している。その結果、「寝る」「着る」など、語幹が一音節の動詞は、ナル敬語にはならず特別形を用いると指摘している。また、「繰り返す」など音節数の長い語形や複合動詞は、ナル敬語を取りにくいことにも言及している。坂本（1992）は、ナル敬語の形を取ることができない動詞が複数あるのに対して、レル敬語には動詞の制限が少ないことに主眼があるとしている。ナル敬語として活用できない動詞についてレル敬語を使うなど、「双方は補い合っている面もあると言えよう」（坂本、1992, p.20）と結論付けている。菊池（1997）は、レル敬語の敬意の軽さにしばしば言及しつつ、「お/ご～になる」の「～」の部分が一拍である場合はナル敬語では言えない点も説明している。

日本語教育の領域では、敬語は初級の終盤で学習する項目とされてきた。川口（1986）、渡邊（1994）など、初級教科書を対象として、学習順序および解説を複数の教科書で比較した研究がなされている。菅生（2021）は、敬語の指針（2007）以降に出版・改訂された初級教科書4冊が、敬語の指針に準拠しているかどうかを、教科書で提示される会話の設定に着目して分析した。その中でレル敬語については、教科書の扱いに統一見解がないことを報告した。ビジネス関係者向け教科書では、レル敬語の敬意が軽いことの説明を付し、会社の場面で、職位が異なる登場人物が軽い敬語を使用する会話を提示している。一方、明示的な説明はないが、ナル敬語とレル敬語を年齢が異なる相手に対して使い、場面の真正性を見せている教科書もある。さらに、ナル敬語と特別形は学習しても、レル敬語を扱わない教科書もあることが報告されている。

高橋・東泉（2022）は、日本語教育実践のための基礎資料を得ることを目的として、レル敬語を含む尊敬語の使用実態についてコーパスを用いて調査し、ナル敬語よりレル敬語のほうが多用されていると報告している。ただし記述された検索方法は精緻化の余地があり、報

告内容も大枠にとどまっている。Sugo-Takahashi (2022) では、いくつかの動詞についてコーパスデータのレル敬語とナル敬語のコロケーションを比較し、レル敬語の学習は中級以降が妥当ではないかと問題提起をした。ただし、試論の域を出ず、主張のもととなるデータは十分とは言い難いものであった。

## 2.4 先行研究のまとめと本研究の研究課題

先行研究を概観すると、レル敬語はナル敬語と比較し、敬語の形を作る操作は簡便だが、受身など他の意味との混同や敬意の度合いが軽いという認識は共有されている。しかし、レル敬語の使用については、複数の捉え方があることがわかる。皇室報道ではレル敬語の軽さを活用し、またビジネス場面では、職位を考慮しレル敬語を使うようにと指導されている。一方で、敬語指導の大前提として、レル敬語が軽いこと、受身などと紛らわしいことの注意を喚起する向きもある。日本語教育の文脈では、レル敬語を初級で指導すべきかどうかも含めて多様であることが教科書にも反映されている。目下のところ、レル敬語の使い分けには会社における職位が指標として示されている唯一のものである。レル敬語を学んだ学習者からの、「いつレル敬語を使うのか、ナル敬語とどのように使い分けるのか」という問いに対して答えられる明示的な指針は見当たらない。

ここで、坂本 (1992)、菊池 (1997) で指摘されている、語幹が一拍の動詞がナル敬語になりにくいとの指摘を捉え直してみる。語幹が一拍の動詞は、カ行変格活用動詞、サ行変格活用動詞を除くと、一段動詞に限定される。このことから、レル敬語、ナル敬語の使用されやすさは、動詞の活用タイプに関係がある可能性が考えられるが、検証した研究は管見の限り見当たらない。

高橋・東泉 (2022) においては、レル敬語の方がナル敬語より使用例が多いことがコーパスから示唆されているが、コーパスの活用次第では、より精緻な結果が得られる可能性がある。動詞によって、レル敬語、ナル敬語のどちらになりやすいかも検証可能に思われる。そこで、本研究では、動詞ごとにレル敬語とナル敬語の使用例をコーパスから抽出することで、これら2つの尊敬語の形式を使い分ける指標の手がかりを探ることとした。その結果から敬語指導への示唆を得ることを目的とし、以下に2つの研究課題を設定する。

研究課題1. レル敬語とナル敬語の使用傾向は、動詞の活用タイプが五段動詞か一段動詞かによって異なるか。

研究課題2. 一つの動詞にレル敬語とナル敬語の両方の使用例があるとき、出現する文脈や共起する語は異なるか。

### 3. 研究方法

#### 3.1 調査対象の動詞および選定方法

敬語指導の対象として日本語学習者も想定するため、初級で学ぶ約250語の動詞から対象語を選定することとした。先行研究で述べたように、敬語は初級教科書の最終盤で学習することが多く、その際には既習の動詞を用いて導入し練習することが普通であるためである。原則の上では、レル敬語とナル敬語のいずれの使用も可能な動詞を対象とすることとした。

次に、対象語の選定方法について述べる。選定に際しては、菊池（1997, pp.156-172）の指摘を踏まえ、以下の条件で動詞の選定を行った。「押す」などの「お」で始まる動詞、および「持ってくる」などの複合動詞を省いた。また、人を主語としない動詞、「盗む」など、「高められる人の行為としてふさわしくない内容の語」（菊池, 1997）も除いた。

続けて、音節数に関する検討について述べる。坂本（1992）および八木（2016）は、音節数の長い動詞はナル敬語になじまないとしている。音節数が影響する可能性を考え、本研究では音節数が短い動詞を対象とすることとした。五段動詞・一段動詞とも、終止形が2拍の動詞が最も短い。五段動詞については、終止形が2拍の語から、上述の排除条件に照らし、30語を選定した。

一段動詞は、終止形が2拍の初級の学習動詞は「見る、寝る、出る、着る、い（居）る」の五語のみである。これらのような「語幹が1拍の動詞」については、菊池（1997）によってナル敬語にはなじまないとされている。加えて、「見る、寝る、出る、居る」については、尊敬語の特別形がそれぞれに存在するため、「出る」のみを対象に含めた。その次に短い、終止形が3拍の動詞から、レル敬語・ナル敬語のいずれも可能な動詞として26語を加え、合計27語を選定した。

以上の手続きを踏まえ、本研究で対象とした、五段動詞30語、一段動詞27語を、初級教科書での学習順序を踏まえて表1に示す。

表1 レル敬語、ナル敬語の調査対象とした五段動詞および一段動詞

五段動詞 (30語)	1 飲む 2 読む 3 書く 4 開く 5 買う 6 吸う 7 撮る 8 会う 9 貸す 10 出す 11 弾く 12 切る 13 消す 14 待つ 15 取る 16 呼ぶ 17 立つ 18 住む 19 飼う 20 履く 21 持つ 22 乗る 23 着く 24 脱ぐ 25 泣く 26 売る 27 引く 28 張る 29 勝つ 30 噛む
一段動詞 (27語)	1 出る 2 起きる 3 あげる 4 見せる 5 借りる 6 かける 7 開ける 8 閉める 9 降りる 10 止める 11 入れる 12 浴びる 13 受ける 14 変える 15 決める 16 捨てる 17 出来る 18 上げる 19 下げる 20 辞める 21 建てる 22 掛ける 23 投げる 24 挙げる 25 褒める 26 慣れる 27 換える

#### 3.2 検索対象：『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（BCCWJ）

本研究では、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（以下BCCWJ）を使用した。BCCWJは、国立国語研究所がコーパス検索アプリケーション『中納言』において公開しているコー

パスの一つで、登録し無償で使用することができる。BCCWJについては、コーパスのウェブサイトにおいて、「現在、日本語について入手可能な唯一の均衡コーパス」であること、また「書籍全般、雑誌全般、新聞、白書、ブログ、ネット掲示板、教科書、法律などのジャンルにまたがって1億430万語のデータを格納しており、各ジャンルについて無作為にサンプルを抽出しています」と説明されている。出典の刊行年題については、最大30年間（1976～2005）であることが記されている。

出典のジャンルは、検索システム上では「レジスター」とされ、内訳は「出版・新聞」「図書館・書籍」「特定目的・国会会議録」「特定目的・知恵袋」等13に分類されている。詳細は石川（2012）を参照されたい。

### 3.3 検索方法

#### 3.3.1 検索の設定

表1に示した五段動詞30語、および一段動詞27語を検索するにあたってのBCCWJの検索画面の設定を表2に記す。本調査では「キー」「共起条件」とも「書字出現形」を用いて検索した。「キー」の動詞は、「あげる（=与える）」、「（電話を）かける」以外は漢字表記を用いて検索した。

表2 BCCWJコーパスの検索設定

敬語の種類	動詞の種類	キー	前方共起条件	後方共起条件
レル敬語	一段動詞（27語）	書字出現形= 対象動詞の語幹 例) 借り		書字出現形=られ
	五段動詞（30語）	書字出現形= 対象動詞の未然形 例) 飲ま		書字出現形=れ
ナル敬語	一段動詞（27語） 五段動詞（30語）	書字出現形= 対象動詞の連用形語幹 例) 借り/飲み	書字出現形=お	書字出現形=に

#### 3.3.2 対象とする用例の抽出

検索結果は、「受身」「自発」、一段動詞は加えて「可能」の用例も含むものである。そこでダウンロードした検索結果を、各用例の文脈を確認し、「レル敬語」「ナル敬語」の用例のみを抽出し、調査対象の用例を収集した。

検索数が1000件を超えるものについては、レジスターを特定目的の「知恵袋」（Yahoo!知恵袋<sup>1</sup>）および「国会会議録」に限定し、検索対象とした。前者は書き言葉でありながら、質問者と回答者のやり取りを文字で記したもので、会話の特徴が反映されていると思われる。後者は文字通り国会内でのやり取りの記録であることから、使用例を見るのに適切であ

<sup>1</sup>Yahoo! Japanウェブサイト内、知恵袋のヘルプのページにおいて、「Yahoo!知恵袋は、疑問に思っていることを質問したり、知っている事柄についての質問に回答することで、参加している方がお互いに知恵や知識を教えあい、分かち合えるサービスです。質問したい人と回答したい人を結び、幅広く情報を共有することを目指しています」と説明されている。

と思われる、用例収集の出典を限定するならこれら2つのレジスターを選定するのが妥当と考えた。

### 3.4 分析方法

研究課題1については、コーパスの検索結果より抽出した、対象とする五段動詞と一段活用動詞の用例において、「レル敬語」と「ナル敬語」のいずれが多いかを記述した。動詞ごとに動詞の活用タイプによって傾向が異なるかを比較した。

研究課題2については、「レル敬語」「ナル敬語」ともに用例の多い動詞を選定し、はじめにコーパスの文脈における文中の出現位置や文法を確認して分類した。つぎに、レル敬語、ナル敬語のそれぞれにおいて共起する語を記述し比較した。

## 4. 研究結果

### 4.1 研究課題1：五段動詞・一段動詞に見られるレル敬語とナル敬語の使用傾向の異なり

対象とする五段動詞30語および一段動詞27語のレル敬語とナル敬語の検索結果を、表3および表4に示す。レル敬語については、レル型の検索結果の総数、およびその中のレル敬語の使用例を示した。検索数が1000を超えるものは、2つのレジスターに限定して再検索した結果を示し、総数を【 】として併記した。レル敬語とナル敬語の使用傾向は、動詞ごとにどちらの用例が多いかを記し、レル敬語の用例の方が多い動詞、ナル敬語の用例の方が多い動詞で分けて示した。

#### 4.1.1 五段動詞30語のレル敬語とナル敬語の用例数

表3に、五段動詞におけるレル敬語とナル敬語の用例数を示す。用例の総数は、レル敬語が672例、ナル敬語が674例である。個々の動詞を見ると、レル敬語の方がナル敬語より多く用例が収集されたのは、「出す」「書く」「買う」「立つ」「飲む」「住む」「引く」「飼う」「吸う」「弾く」「撮る」「切る」「履く」「呼ぶ」「消す」の15語である。このうち、「出す」は、「出され」の形での検索では2245件が検索されたため、レジスターを「Yahoo！知恵袋」と「国会会議録」に限定し、586件からレル敬語の用例97例を収集した。それでも、全てのレジスターから検索された「お出しに」のナル敬語の用例数76件を上回った。

「書く」については、総検索数が5000を超えたため、Yahoo！知恵袋と国会会議録の2つのレジスターから検索された1067件を対象とした。「書かれ」のレル敬語の用例は70例見いだされた一方、「お書きに」の用例は、レル敬語と同じ条件の2つのレジスターに限定すると用例数は23例であった。総検索数は138例あったが、ここでは同一条件での比較結果を見て、レル敬語の用例の方が多いと判断した。

一方で、ナル敬語の用例の方がレル敬語より多く収集されたのは、「読む」「持つ」「会う」

「聞く」「乗る」「待つ」「着く」「脱ぐ」「泣く」「売る」「貸す」「張る」「勝つ」の13語である。「聞く」については、全レジスターからは1696件が検索されたため、2つのレジスターに限定して検索し、507件の「聞かれ」の用例から、30例のレル敬語の用例を収集した。「お聞きに」のナル敬語の用例は全レジスターからは173例の用例が、レル敬語と同じ条件の2つのレジスターからは65例が検索されたため、ナル敬語の方が多いと判断した。「取る」は、2つのレジスターに限定して比較すると「取られ」のレル敬語の用例数と、「お取りに」のナル敬語の数が等しくなる。しかしながら、これだけで全体の傾向を推測するのは困難で、今回は判断を保留した。「嘔む」は、レル敬語、ナル敬語とも用例はなく、分析対象から除外した。

表3 五段動詞30語におけるレル敬語、ナル敬語の用例検索結果

対象 五段動詞		検索語		備考 (限定したレジスターの用例数内訳)		
		未然形+れ	お+連用形+に	レル敬語	ナル敬語	
レル敬語が多い動詞	1	出す	586 <sup>1)</sup> 【2245】	97	76	1) 知恵袋：142例、国会会議録：444例
	2	書く	1067 <sup>2)</sup> 【5719】	70	23 <sup>3)</sup> (138)	2) 知恵袋：817例、国会会議録：250例 3) 知恵袋：9例、国会会議録：14例
	3	買う	311	54	24	
	4	立つ	51	44	19	
	5	飲む	132	39	21	
	6	住む	17	17	5	
	7	引く	648	11	10	
	8	飼う	140	9	1	
	9	吸う	81	8	3	
	10	弾く	11	6	5	
	11	撮る	164	6	3	
	12	切る	563	3	2	
	13	履く	4	3	1	
	14	呼ぶ	409 <sup>4)</sup> 【5434】	3	1 <sup>5)</sup> (27)	4) 知恵袋：375例、国会会議録：34例 5) 国会会議録：1例
	15	消す	290	3	0	
ナル敬語が多い動詞	1	読む	435	90	106	
	2	持つ	356	78	124	
	3	会う	36	34	86	
	4	聞く	507 <sup>6)</sup> 【1696】	30	65 <sup>7)</sup> (173)	6) 知恵袋：442例、国会会議録：65例 7) 知恵袋：26例、国会会議録：39例
	5	乗る	39	23	27	
	6	待つ	70	22	25	
	7	着く	7	7	19	
	8	脱ぐ	5	2	2	
	9	泣く	51	2	11	
	10	売る	939	2	3	
	11	貸す	4	1	2	
	12	張る	256	1	1	
	13	勝つ	7	0	2	
保留	1	取る	249 <sup>8)</sup> 【1178】	7	7 <sup>9)</sup> (14)	8) 知恵袋：209例、国会会議録40例 9) 知恵袋：2例、国会会議録：5例
対象外	1	嘔む	67	0	0	
			用例総数	672	674	

表4 一段動詞27語におけるレル敬語、ナル敬語の用例検索結果

対象 一段動詞		検索語	語幹+られ		お+連用形+に	備考 (限定したレジスターの用例数内訳)
			検索結果総数	レル敬語	ナル敬語	
レル敬語が 多い動詞	1	受ける	871	102	32	
	2	出る	584	64	42	
	3	変える	409	4	0	
	4	開ける	213	2	0	
ナル敬語が 多い動詞	1	挙げる	628	21	22	
	2	決める	299 <sup>1)</sup> 【1449】	17	36 <sup>2)</sup> (59)	<sup>1)</sup> 知恵袋:191例、国会会議録108例 <sup>2)</sup> 知恵袋: 9 例、国会会議録27例
	3	あげる	833	11	12	
	4	入れる	859	10	12	
	5	辞める	56	9	14	
	6	降りる	42	5	6	
	7	建てる	926	4	11	
	8	止める	439	4	6	
	9	上げる	196	3	5	
	10	見せる	365	1	11	
	11	捨てる	559	1	5	
	12	起きる	84	1	4	
	13	下げる	109	1	0	
	14	出来る	0	0	12	
	15	掛ける	261	0	6	
	16	借りる	78	0	3	
	17	褒める	160	0	2	
保留	1	かける	156 <sup>3)</sup> 【1576】	3	3 <sup>4)</sup> (20)	<sup>3)</sup> 知恵袋:131例、国会会議録25例 <sup>4)</sup> 知恵袋: 3 例
対象外	1	投げる	146	0	0	
	2	閉める	74	0	0	
	3	換える	15	0	0	
	4	慣れる	4	0	0	
	5	浴びる	0	0	0	
用例総数			263	244		

## 4.1.2 一段動詞27語のレル敬語とナル敬語の用例数

表4に、一段動詞27語におけるレル敬語、ナル敬語の用例検索結果を示す。用例の総数は、レル敬語が263例、ナル敬語が244例である。一段動詞の中で、レル敬語の方がナル敬語より多く用例が収集されたのは、27例中「受ける」「出る」「変える」「開ける」の4語である。「受ける」については「受けられる」がレル敬語の用法で用いられていたのは102件と、レル敬語の例としては最も多く、ナル敬語の「お受けになる」は32例であった。「変える」「開ける」については「お変えになる」「お開けになる」の用例は見当たらなかった。

一方で、ナル敬語の用例の方がレル敬語より多く収集されたのは、「挙げる」「決める」「あげる」「入れる」「辞める」「降りる」「建てる」「止める」「上げる」「見せる」「捨てる」「起きる」「下げる」「出来る」「掛ける」「借りる」「褒める」の17語である。「決める」については、「決められ」では総検索数が1449例あったため、Yahoo！知恵袋と国会会議録の2つのレジスターに限定して検索し、299の検索結果から17例のレル敬語の用例を見出した。「お決めに」については2つのレジスターに限定して36例を収集したことで、同じ条件の比

較から、ナル敬語の用例が多いと判断した。「かける」については、2つのレジスターから収集した用例で同数となったため、判断は保留した。レル敬語、ナル敬語のいずれの用例も検索できなかったのは「投げる」「閉める」「換える」「慣れる」「浴びる」である。「浴びる」は、「浴びられ」も「お浴びに」も用例は見当たらなかった。

以上、研究課題1「レル敬語とナル敬語の使用傾向は、動詞の活用タイプが五段動詞か一段動詞かによって異なるか」として、五段動詞30語と一段動詞27語において、レル敬語とナル敬語のどちらの用例が多いかを見た。その結果、それぞれの用例の総数は五段動詞、一段動詞のいずれも拮抗していた。しかし、一つの動詞においてどちらの用例が多いかを比較すると、五段動詞と一段動詞とで異なった傾向が見られた。表5に、動詞ごとのレル敬語・ナル敬語の用例数の比較に基づき、動詞の数を分類して示す。五段動詞は、レル敬語の用例が多い動詞とナル敬語の用例が多い動詞の数は15語と13語で大差はなかった。しかし一段動詞では、レル敬語の用例が多い動詞が4語、ナル敬語の用例が多い動詞が17語となり、一段動詞はナル敬語で用いられる方が多いことが示された。

表5 分析対象の五段動詞および一段動詞におけるレル敬語・ナル敬語の使用傾向

	レル敬語の 用例の方が多い動詞の数	ナル敬語の 用例の方が多い動詞の数	保留・分析 対象外	総数
五段動詞	15語	13語	2	30語
一段動詞	4語	17語	6	27語

#### 4.2 研究課題2：レル敬語とナル敬語の用例における文脈や共起する語の異なり

##### 4.2.1 分析対象とする語の選定

本節では、研究課題2「ひとつの動詞にレル敬語とナル敬語の両方の使用例があるとき、出現する文脈や共起する文法は異なるか」に対する結果を述べる。五段動詞、一段動詞の対象語において、レル敬語とナル敬語両方の使用例の多い動詞を5語選び、レル敬語とナル敬語の出現する文脈を比較し、共起する要素の傾向を探った。

分析対象とする語は、五段動詞の「書く」「持つ」「読む」「聞く」「出す」の5語、および一段動詞の「受ける」「出る」「決める」「挙げる」「入れる」である。それぞれの用例数を表

表6 レル敬語ナル敬語とも用例の多い動詞

	対象動詞	レル敬語	ナル敬語	用例合計
五段動詞	1 書く	70	138	208
	2 持つ	78	124	202
	3 読む	90	106	196
	4 聞く	30	173	203
	5 出す	97	76	173
一段動詞	1 受ける	102	32	134
	2 出る	64	42	106
	3 決める	17	59	76
	4 挙げる	21	22	43
	5 入れる	10	12	22

6に示す。一段動詞では、用例数としては「あげる」が24例と5番目だったが、ナル敬語に「～てあげる」の補助動詞の用例を6例含むものであったため除外し、「入れる」を対象とすることとした。

#### 4.2.2 出現する文脈を分類する観点

レル敬語およびナル敬語が使用されやすい文脈はどのようなものかを見出すため、用例の出現位置の前後の文脈を確認した。その結果を踏まえて、1)「人を修飾する関係節での使用」2)「その他事物を修飾する関係節での使用」・「複文における使用」に分類し、「文中における使用例」としてまとめた。レル敬語、ナル敬語とも、述部において提案・指示を出す際に使用する例も目立ったことから、3)「提案・指示」として分類した。それ以外の述部の用例として、単純な文末使用のほか、重文での接続の用例を4)「その他述部における使用」と分類し、3)、4)を「文末における使用例」とした。それぞれの用例を一例ずつ以下に示す。(下線は筆者)

- 1) 人を修飾する関係節：「以前から、HPでもブログでも、「猫村さん」の書評を書かれている方が結構いらっしゃいます」(OC01\_05065) (Yahoo!知恵袋)
- 2) ・その他事物を修飾する関係節：「今さっき村田さんが読まれた六十四条では、いわゆるコンチネンタル・マージンの外縁までの距離が…」(OM15\_00003) (国会会議録)  
・複文：「基準法の問題等々を含めて、どのような認識とお考えを持たれているのか、この辺をお伺いしたいと思います。」(OM34\_00001) (国会会議録)
- 3) 提案・指示：「…を洗わずそのままビニール袋に入れたまま出す事をします。安心して出されてください。」(OC08\_04789) (Yahoo!知恵袋)
- 4) 重文での接続：「総理もこの懇談会に出られまして、このことについてご発言があったようでございますけれど」(OM21\_00004) (国会会議録)

#### 4.2.3 レル敬語およびナル敬語が出現する文脈における用例数

5つの動詞のレル敬語およびナル敬語について、用例を前節で述べた観点に基づき分類した。表7に五段動詞の分類数を、表8に一段動詞の分類数を示す。

表7「用例の多い五段動詞5語におけるレル敬語・ナル敬語の文脈別出現数」に示した、五段動詞「書く」「持つ」「読む」「聞く」「出す」のレル敬語の用例及びナル敬語の用例数を、文脈の分類に基づいて比較する。レル敬語は用例の合計365例中、文中では、人物を修飾する関係節で67例、その他の名詞修飾および複文で134例出現していた。文末では、提案・指示を表す文で31例、その他の用例で133例出現していた。

一方、ナル敬語は617例中、文中では人物を修飾する関係節で29例、その他の名詞修飾および複文で257例出現していた。文末においては、提案・指示を表す文で50例、その他の用例で281例出現していた。この分類の偏りの有無を、 $\chi^2$ 検定を用いて確認した結果、有意水準1%で有意であった( $\chi^2(3)=49.705$ ,  $p<.01$ )。残差分析の結果、五段動詞のレル敬語

においては、人物を修飾する用例の出現数が1%水準で有意に多く、ナル敬語は提案や指示以外の文末で用いられる用例の出現数が1%水準で有意に多いことが示された。

表7 用例の多い五段動詞5語におけるレル敬語・ナル敬語の文脈別出現数

対象 五段動詞	レル敬語 出現文脈				レル敬語 合計	ナル敬語 出現文脈				ナル敬語 合計
	文中		文末			文中		文末		
	人物 修飾	名詞 修飾・ 複文	提案・ 指示	その他 述部		人物 修飾	名詞 修飾・ 複文	提案・ 指示	その他 述部	
書く	10	35	8	17	70	4	78	8	48	138
持つ	21	22	4	31	78	7	47	10	60	124
読む	26	26	8	30	90	16	39	13	38	106
聞く	1	11	5	13	30	2	68	16	87	173
出す	9	40	6	42	97	0	25	3	48	76
合計	67	134	31	133	365例	29	257	50	281	617例
残差分析結果	6.963**	-1.528ns	0.214ns	-2.792**		-6.963**	1.528ns	-0.214ns	2.792**	

表8 用例の多い一段動詞5語におけるレル敬語・ナル敬語の文脈別出現数

対象 一段動詞	レル敬語 出現文脈				レル敬語 合計	ナル敬語 出現文脈				ナル敬語 合計
	文中		文末			文中		文末		
	人物 修飾	名詞 修飾・ 複文	提案・ 指示	その他 述部		人物 修飾	名詞 修飾・ 複文	提案・ 指示	その他 述部	
受ける	33	27	15	27	102	1	9	5	17	32
出る	6	28	3	27	64	4	14	4	20	42
決める	0	3	11	3	17	0	27	10	22	59
挙げる	2	4	0	15	21	0	12	1	9	22
入れる	1	2	0	7	10	1	4	3	4	12
合計	42	64	29	79	214例	6	66	23	72	167例
残差分析結果	4.68**	-1.964*	-0.062ns	-1.227ns		-4.68**	1.964*	0.062ns	1.227ns	

表8に、用例の多い一段動詞5語の、レル敬語およびナル敬語の、文脈別用例数を示す。一段動詞「受ける」「出る」「決める」「挙げる」「入れる」については、レル敬語は用例の総数は214例であった。そのうち、文中では人物を修飾する関係節で42例、その他の名詞修飾節および複文において64例の使用が見られた。文末では、提案・指示を表す文で29例、その他の用例で79例が出現していた。

一段動詞の「ナル敬語」は用例の総数は167例であった。文中では、人物を修飾する関係節で6例、その他の名詞修飾節および複文において66例の使用が見られた。述部では、提案・指示を表す文で23例、その他の用例で72例が72例出現していた。この分類の偏りの有無を $\chi^2$ 検定を用いて確認した結果、有意水準1%で有意であった ( $\chi^2(3) = 22.593$ ,  $p < .01$ )。残差分析の結果、一段動詞のレル敬語においては人物を修飾する用例の出現数が1%水準で有意に多く、それ以外の文中の用例も5%水準で有意に多いことが示された。ナル敬語においては、提案や指示ではなく、文末で用いられる用例の出現数が有意に多いことが示された。

以上から、BCCWJコーパスにおいて、用例の多い五段動詞および一段動詞5語を文脈別に比較した結果、いずれの動詞においても、レル敬語が文中の人を修飾する関係節において

有意に多く出現していることが明らかになった。

#### 4.2.4 レル敬語およびナル敬語が共起する語

ひとつの動詞にレル敬語およびナル敬語の用例があるとき、共起する語は異なるかを、頻出動詞を取り上げて探ることとした。五段動詞および一段動詞それぞれより、最も用例の多かった「出す」と「受ける」において、レル敬語およびナル敬語がどのような対象語と共起しているのかを確認し、表9および表10に示す。

表9には、五段動詞「出す」のレル敬語およびナル敬語の用例から共起した対象語を抽出して示す。「出す」の多義性を踏まえ、その結果を「情報」と「具体物」に分類したところ、レル敬語の対象語は、異なり語数にして62語中「情報」に36語、「具体物」に24語見いだされた。一方で、ナル敬語が共起する対象語は、55語中「情報」に26語、「具体物」に15語であった。

表10には、一段動詞「受ける」のレル敬語およびナル敬語の用例から、共起した対象語を抽出して示す。対象物のほか、慣用句での使用が見られたため、別の分類を設けた。レル敬語では、102例・38異なり語のうち、医療・検査検診・接種関連の4語が27例と最も多く、次に多かったのは、被害・災害・被災の3語・21例であった。ナル敬語では、32例・20異なり語のうち、医療・検査・検診・接種に関わる5例・4異なり語が最も多く、次いで「洗礼を受ける」が続いた。被災関連の語と共起する例は、ナル敬語では見られなかった。

表9 「出す」のレル敬語およびナル敬語の用例において共起した対象語

	分類	レル敬語：出され (97例) [62語]	ナル敬語：お出しに (76例) [55語]
対象	情報： (言及・引用され、対象物の移動はない)	意見: 6 要綱: 6 案: 6 報告: 4 計画: 3 問題点: 3 文書: 3 施策: 2 法案: 2 勧告: 2 例: 2 データ: 2 話: 2 具体例 採用希望 デザイン案 答申 方針 見通し 声 (意見) アピール 通知 絵 (構図) 定義 資料 声明 注文 理由 提案 質問 覚書の名前 成功例 結論 反論文書 主意書 意見書 [36語]	報告: 6 計画: 3 資料: 2 事例: 2 意見: 2 通達: 2 提言: 2 法案: 2 方針: 2 数字: 2 数: 2 要望 解説 勧告 提案 希望 疑問点 妥協案 見解 指令 成果 問題 法律 会議録 指導文書 ガイドライン [26語]
	具体物： (対象物の移動を伴う)	本: 3 広報: 2 パンフレット: 2 解説書 法案冊子 CD	パンフレット: 3 本 2 単行本 雑誌
		年賀状: 2 辞表 手紙 挨拶状 寒中見舞い 喪中はがき	郵便物: 2 挨拶状 年賀状
		コダック チケット 服 ブランド服 古い部品 私物 レア商品 (以上オークション出品)	
		お金	チップ 百フラン ご褒美 報奨金 研究費 拠出金 掛金
		服クリーニング: 2 修理 ミシン修理 糸 (引き出す意) [24語]	服クリーニング [15語]
慣用句	顔を出す [1語]	顔を出す: 2 使いを出す 本心を顔に出す 元気を出す 手を出す 悪い癖を出す [6語]	
その他	不明 [1語]	皇室関係 3 不明 [8語]	

表10 「受ける」のレル敬語およびナル敬語の用例において共起した対象語

	分類	レル敬語：受けられ (102例) 【38語】	ナル敬語：お受けに (32例) 【20語】
対象	サービス	医療・検査・検診・接種: 27 認定 給付 免除 【7語】	医療・検査・検診・接種: 5 年金支給 介護認定 サービス 【7語】
	被害	被害・災害・被災: 21 【3語】	
	情報	指導・教育・ボイストレーニング: 3 報告: 2 打診 要請 陳情 伝達 内諾 インフォームドコンセント セコンドオピニオン 説明 【12語】	法律相談 答申: 2 推薦 申し入れ 【4語】
	試験	試験 面接 【2語】	試験 【1語】
	罰	叱責 遠島の沙汰 【2語】	(起訴に伴う) 犠牲 【1語】
	具体物	受賞・褒章・学位・任命: 7 退職金 【5語】	辞令 ゲーム 魚 【3語】
	慣用句	ショックを受ける: 5 印象を受ける: 3 感銘を受ける: 2 真に受ける 影響を受ける 【5語】	洗礼を受ける: 5 ひと太刀受ける 【2語】
	その他	皇室関係: 2 聖書仏典関係: 6 【2語】	皇室関係: 5 聖書仏典関係: 5 【2語】

#### 4.3 結果のまとめ

研究課題1「レル敬語とナル敬語の使用傾向は、動詞の活用タイプが五段動詞か一段動詞かによって異なるか」として、五段動詞30語と一段動詞27語において、個々の動詞にレル敬語とナル敬語のどちらの用例が多いかを見た。研究課題2「一つの動詞にレル敬語とナル敬語の両方の使用例があるとき、出現する文脈や共起する語は異なるか」として、五段動詞、一段動詞それぞれどちらの敬語の用例も多い5語を取り出し、出現した文脈から分類し、検討した。また、五段動詞、一段動詞とも最も用例の多かった「出す」と「受ける」において、共起する対象語を確認した。表11に結果をまとめて示す。

表11 研究課題、分析対象、結果のまとめ

研究課題	分析対象	結果	
1. 五段動詞と一段動詞におけるレル敬語・ナル敬語使用傾向の異なり	五段動詞30語	レル敬語の方がナル敬語より用例が多い動詞：15語 ナル敬語の方がレル敬語より用例が多い動詞：13語 拮抗している。	
	一段動詞27語	ナル敬語をレル敬語より多く用いる動詞：分析可能な22語中17語 ナル敬語で用いる方が多いことが示唆される。	
2. 五段動詞と一段動詞におけるレル敬語・ナル敬語出現文脈・共起する語の異なり	文脈	五段動詞 5語	レル敬語を、文中の人を修飾する関係節で用いる用例が有意に多い。 ナル敬語を、文末で用いる用例が有意に多い。
		一段動詞 5語	レル敬語を、文中の人を修飾する関係節で用いる用例が有意に多い。
	共起語	五段動詞「出す」	レル敬語は多様な具体物と共起している。
		一段動詞「受ける」	レル敬語は「被災関連語」と共起する用例が多い。 ナル敬語には「被災関連語」は見られない。

## 5. 考察

### 5.1 五段動詞と一段動詞におけるレル敬語・ナル敬語の用例数の偏り

本節では、研究課題1の結果として、五段動詞と一段動詞とでは、一段動詞の方にナル敬語を多用する動詞が多いことが示唆された理由を考察する。

先行研究では、「お〜なる」を付加するナル敬語の操作によって容認される動詞には限り

があることが指摘されていた（菊池, 1997；坂本, 1992；八木, 2016）。レル敬語と比較し冗長である（菊池, 1997）との指摘もあることから、レル敬語の方が用例が多いことが予測された。

しかし、「語幹が1拍のもの、音節数が長いものはナル敬語の容認度が低い」（坂本, 1992）を受け、本調査では、ナル敬語の容認度を下げる要素を排除し、語幹が2拍の動詞同士で比較した結果、一段動詞においては、レル敬語よりナル敬語の用例の方が多という結果になった。

一段動詞ではレル敬語よりナル敬語の方が使用されている理由としては、「お～になる」の冗長性よりも、尊敬語であることの意味の明示性ではないかと考える。一段動詞のレルの活用形式には、「可能形」「受身」「自発」の用法があり、このうち「可能形」が日常的に使用されている用例には最も多いように思われる。一段動詞の場合、レル敬語はどうしても可能形と間違われやすく、そのため、レル敬語を避けてナル敬語を用いると考えられる。

五段動詞では、レルの活用形式をとるのは「受身」のみであるが、受身かどうかは文脈で判断が付きやすいため、迷うことは多くないと思われる。このことから、五段動詞では、レル敬語の使用例が一段動詞と比べて多かった可能性がある。

最後に、レル敬語と方言についても触れる。井上（2017）は、レル敬語は西日本では多用されるものの、東日本では使いにくいと述べている。コーパスでは、関西弁と思しき「飲まれへん」「買われへん」のような可能の否定形の用例は、いくつか見受けられた。しかし、レル敬語が東日本（標準語圏）で使いにくいと考える判断材料は特には見当たらなかった。

## 5.2 レル敬語・ナル敬語が出現する文脈について

### 5.2.1 人を修飾する関係節での使用について

本項では、研究課題2の結果のうち、人を修飾する関係節での使用について考察する。五段動詞、一段動詞とも、人を修飾する関係節でレル敬語を使用した例が有意に多く見出された。その理由としては、本調査で参照したBCCWJコーパスのレジスターにおけるやり取りの特徴が反映されていると考えられる。

このような例が多く収集された「Yahoo！知恵袋」は、面識のない相手と、ウェブサイトで文字の書き込みを重ねてやり取りをする場である。用例を挙げると、「車をローンで買われている方。月々の支払額はいくらですか？何年払いでしょうか？（OC03\_00089）」と呼びかけたり、「海外で挙式を挙げられた方にお聞きしたいのですが、海外で2人きりで…（OC11\_00691）」と前置きしたりして、名詞修飾節を用いることで反応が欲しい相手を特定している。その際に、親しくない相手への敬意の表しかたとして、レル敬語はひとつの定型表現のように浸透しているように思われる。また、「…の書評を書かれている方が結構いらっしゃいます（OC01\_05065）」（以上、下線は筆者）のように、関係節でレル敬語を、文末で

尊敬語の特定形を使用する例も見受けられる。ここに、レル敬語が簡便であるという特徴が活かされているとも考えられる。

もうひとつのレジスター「国会会議録」は、実際の口頭発話の様相を伝える資料である。国会における質疑応答の記録の中で、省庁や官僚名、議員名、証人名に言及する際に、あるいは先の発言者のコメントを引用する際にレル敬語が用いられていた。同じ党に属する発言者にもレル敬語を用いているなら、敬語の指導書に必ず書かれている、身内 (in-group) には尊敬語を使わないというルールからは逸脱している用例もあるかと思われる。しかし、緊迫した公の場での発言において、他者に言い及ぶ際にはレル敬語を用いることが定着しているように見受けられる。ここにも、レル敬語の簡便性が反映されていると思われる。

### 5.2.2 レル敬語・ナル敬語が共起する語について

本項では、研究課題2の結果のうち、レル敬語・ナル敬語が共起する語について考察する。はじめに、五段動詞「出す」の結果を考察する。共起語を「情報」と「具体物」に分類したところ、レル敬語は多様な具体物を共起していた。この結果は、「出す」の多義性によるものだと考える。コーパスの用例を見ても、「手紙を出す」(投函)、「クリーニングに出す」(現物預け)、「レア商品を出す」(オークション出品)などの、物の移動を伴う意味での用例から、「お金を出す」(支払い)、「本を出す」(出版)という派生的な意味での用例、さらに、「勧告を出す」「データを出す」「方針を出す」など、提案や提言の表明の意味まで、「出す」は広い意味で用いられていた。レル敬語はその敬意の軽さから、日常的な行為も国会の場での意見の引用にも、広く使用されていたといえる。

一方、ナル敬語の全用例76例は、全てのレジスターから収集されたが、そのうち「国会会議録」の用例が50例を占めていた。国会の場において、発言や引用を意味するのに「お出しになる」は便利に用いられていることが、使用例の数に表れていたと思われる。

次に、一段動詞「受ける」の共起語について考察する。「受ける」において、レル敬語およびナル敬語がどのような対象語と共起しているのかを確認したところ、レル敬語のみ、「災害、被害、被災」等と共起する例が21例見いだされた。一例を挙げると、「…申し訳なく思っておりまして、先ほどの質問者に対しまして、被害を受けられた全部の皆さんにお見舞いを申し上げた次第でございます。… (OM31\_00004) (国会会議録)」(下線は筆者)のような用例である。この例からは、敬意というよりも、気遣い・配慮が示されていることがわかる。不幸な経験をしたことに言及する際に、レル敬語を使用しているのは、レル敬語の簡便性を配慮表現として用いていると考えられ、それが21例見いだされたことから、配慮表現として浸透しつつあることが考えられる。

菊池 (1997, pp.163-164) では、倒産や留年など、その対象にとって不幸や不名誉な内容には、ナル敬語は不適切であると述べられている。上述の例で言うなら「被害をお受けに

なった」の使用例がないことは従来の知見に沿っている。不幸な出来事に言及する際に、配慮表現としてレル敬語が使用されていることは、コーパスデータを見ることによって明らかになった、新規な報告である。

## 6 おわりに

### 6.1 本研究の意義

本研究では、レル敬語およびナル敬語の使い分けの手がかりを探ることを目的に、初級日本語教科書で学ぶ動詞から、音節数等を考慮し、五段動詞および一段動詞のレル敬語およびナル敬語の用例をコーパスから収集した。その結果から「一段動詞は、レル敬語よりナル敬語を用いる動詞の方が多い」「レル敬語は人を修飾する関係節での使用が多い」「望ましくない経験に言及する際にレル敬語が用いられている」ことを報告した。これらはいずれも、尊敬語の使い分けに関しては管見の限り新規な報告であり、当該領域の今後の研究に資するものとする。

### 6.2 今後の課題及び教育実践への示唆

最後に、本研究の限界について述べる。まず、コーパスの用い方に精緻化の余地がある。本研究ではBCCWJコーパスの検索結果が1000を超えるものは、レジスターを限って検索するなど、限定的な用い方をした。今後は網羅的な検索を行い、検証する必要がある。調査対象の動詞も、音節数換算で最も短い動詞に限定しており、文脈や共起語の検討も、さらに限られた数の動詞を対象としたものであった。今後は調査対象も拡げて用例を確認し、同様の傾向が見られるか、検証する必要がある。

次に、本研究では扱わなかったが、いくつか興味深い敬語使用の用例、例えば「飲まれてください」のような提案・指示の使い方も次には対象としたい。また、コーパスデータの中には「お買いになられた」のような、ナル敬語にレル敬語の用法を重ねた二重敬語も少なからず見いだされた。尊敬語の変わりゆく言語使用の例として、新たな傾向が見いだされる可能性がある。

最後に、教育実践への示唆を述べる。日本語学習者に対しては「一段動詞はレル敬語で使うことは少ない」ということは、学習した時点で、伝えてもいいことに思われる。使用頻度の高い一段動詞の多くには尊敬語の特別形があるため、特別形を使うようにという指導でよいのではないか。また、コーパスの用例から、レル敬語は複文や述部において様々なモダリティ表現と共起していることがわかった。「出す」や「受ける」の用例を見たことで、初級で学ぶ基本的な動詞でも、敬語使用を伴う文脈では初級で学ぶ意味ではなく、抽象度の高い派生義で用いられていることも明らかになった。そのため、レル敬語の詳細は、中級以上で学習するのが適切であろう。日本語学習者にとっては、学習した個々の文法を組み合わせ

せ、運用能力を高めてはじめて理解でき、使用できるようになると考える。Sugo-Takahashi (2022) では、ごく小規模の言語データをもとにレル敬語を中級以上で学習する妥当性を述べたが、本研究でもその妥当性は支持されたと考える。菅生 (2021) で報告したように、レル敬語を初級で扱わない教科書も出版されてきているが、本研究の結果はその判断に沿ったものである。

敬語は、日本人学生もまた日本語学習者と同様、座学で学ぶものである。杉本 (2014) のようにビジネス文書ではレル敬語は使わないように、とする指導もあるだろうが、近年普及してきた、SNSのビジネス使用ではどうだろうか。「人を修飾する関係節でレル敬語を用いる」用例や、「被害を受けられた」「事故に遭われた」のような、望ましくない出来事に言及する際のレル敬語もあることを指導に加えてもいいと考える。こうした指導実践の試みについては、いずれ稿を改めて報告したい。

## 謝辞

本研究は、2018-2022年度科学研究補助金研究「日本語学習者の補助動詞及び助詞の誤りに対する口頭訂正フィードバックの効果の検証」(若手研究、課題番号18K12421, 研究代表: 菅生早千江) の一環として、タスク作成準備のために実施したものです。

## 分析対象

国立国語研究所 コーパス検索アプリケーション『中納言』<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>  
(2023年10月26日)

国立国語研究所 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

## 参考文献

- 石川慎一郎 (2012) 『ベーシックコーパス言語学』 ひつじ書房
- 一般社団法人共同通信社 (2021) 『記者ハンドブック』 第13版 株式会社共同通信社
- 井上史雄 (2017) 「第1章 尊敬語を使いすぎる傾向」『新・敬語論: なぜ「乱れる」のか』 NHK出版新書、日本放送協会、19-42.
- 菊池康人 (1997) 「Ⅲ 敬語の仕組みと使い方--その一 いわゆる尊敬語」『敬語』 講談社学術文庫、講談社、114-253.
- 坂本恵 (1992) 「『お~になる』と『れる・られる』」『国語学研究与資料』 16, 11-21.
- 杉本祐子 (2014) 『敬語力がつく! 文章&文書の超・基本』 (主婦の友社)
- 菅生早千江 (2021) 「初級日本語教科書における『謙譲語の2分類』『尊敬語の使い分け』の扱われ方—『敬語の指針』(文化庁, 2007年)をどのように反映させているのか—」『目白大学人文学研究』 17, 75-94.

Sugo-Takahashi Sachie (2022). Should “-*reru*” honorifics be taught or not to be taught in Japanese language education? Proceedings of “Practicing Japan – 35 years of Japanese Studies in Poznań and Kraków” the Department of Japanology, Adam Mickiewicz University, Poznań and the Department of Japanology and Sinology, Jagiellonian University in Kraków. Poland. p.13. <https://35-shunen.web.amu.edu.pl/book-of-abstracts-2/> (2023年10月26日)

高橋圭子・東泉裕子 (2022) 「レル敬語をどのようにご指導されていますか--現代語コーパスに探る尊敬語の形式--」『アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル』14, 35-43.

野口恵子 (2013) 「第六章 「部長はイカレテル」「先生もヤラレタ」は尊敬語か--ナル尊とレル尊を考える」『失礼な敬語：誤用例から学ぶ、正しい使い方』光文社新書、株式会社光文社, 113-132.

野呂健一 (2016) 「日本語表現教科書から見る敬語指導の問題点」『高田短期大学キャリア研究センター紀要・年報』2, 33-40.

秘書検定面接対策ブログ

<https://blog.goo.ne.jp/lavenderjuliet/e/a018212651b0116b32c65e44fae0120d>

(2023年10月26日)

文化庁 第1期国語審議会 (1952) 「これからの敬語」

[https://www.bunka.go.jp/kokugo\\_nihongo/sisaku/joho/joho/kakuki/01/tosin06/04.html](https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kakuki/01/tosin06/04.html)

(2023年10月26日)

文化庁 文化審議会 (2007) 「敬語の指針」(文化審議会答申)

[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai\\_6/pdf/keigo\\_tousin.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai_6/pdf/keigo_tousin.pdf)

(2023年10月26日)

文化庁 「令和4年度「国語に関する世論調査」の悔過の概要」, p3

[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/kokugo\\_yoronchosa/pdf/93945901\\_01.pdf](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/pdf/93945901_01.pdf) (2023年10月26日)

毎日新聞社 (2023.9.15) 「皇室スケッチ 悠仁さま17歳 秋篠宮さまの姿に学ぶ」『毎日新聞』東京 朝刊 6.

八木健太郎 (2016) 「プロトタイプカテゴリーとしての『ナル敬語』 試論--大規模コーパス調査に基づいて--」『中央学院大学人間・自然論叢』41, 21-40.

Yahoo! Japan Yahoo! 知恵袋ヘルプ

<https://support.yahoo-net.jp/PccChiebukuro/s/article/H000011650> (2023年10月23日)